

やまきたまち 議会 だより

# 議会のおと

委員会活動報告…P6～9

県外視察報告…P10～11



紙すき作業で卒業証書を作る三保小学校6年生

# 12月議会定例会

議案  
審議

## 下水道料金改定へ

値上げは4月1日  
使用料12%アップ

### 条例改正

#### ○下水道条例

下水道事業を健全で持続可能な運営にするため、使用料を見直すもの。

#### 27年ぶりの見直し

渡辺議員 値上げ率はどのくらいか。

上下水道課長 12%で平成30年4月1日を予定している。

石田議員 平成2年から改定しなかった理由は。

上下水道課長 今までは大口使用者の企業に6割頼

っていた。これからは、人口減少により使用料収入が減少し、起債の返済や設備の改修に負担が増す。

渡辺議員 原耕地・前耕地の施設は老朽化しているが整備の予定は。

上下水道課長 下水道の（※）ストックマネジメント計画で、悪いところから改修したい。

藤原議員 今回の改定で維持管理や将来の改修も担保できるのか。

上下水道課長 今回は、12%の値上げだが長期期間だと金額が変わっていくので見直しは行う。

※ストックマネジメント計画とは 施設全体の改築や維持管理を最適化し長寿命

化する計画。

○中川温泉ふなの湯の設置及び管理条例

休館日を水曜日から月曜日に変更するもの。

清掃や点検に心配ないか

藤原議員 今まで週2回清掃していたものが1回になるというが、レジオネラ菌について問題ないか。

商工観光課長 1回の清掃だが、レジオネラ菌の検査は今後もチェックしていくので心配ない。

#### ○税条例

地方税法の改正により、条例を改正するもの。家庭的保育等の施設に対する固定資産税の軽減措置の追加や環境性能を満たす軽自動車税の軽減税率の延長等。

瀬戸(恵)議員 軽自動車の税率軽減による影響は。

町民税務課長 新規登録が平成29年度と同じと仮定した場合、30年度は75万円の減少となる。

下水道条例  
の改正



維持管理は計画的に



豊富な湯量が登山者に人気



# 東山北駅前ロータリー いよいよ供用開始



住民の思いにより、設置される広場、3年後に完成予定

## 条例制定

○東山北駅前広場設置条例  
東山北駅前広場のロータリーが供用開始されるので制定するもの。

○長期継続契約を締結することができる契約を定める条例  
期間が複数年度の契約を結べる条例を制定するもの。  
※本会議で総務環境常任委員会に付託した。  
(審査報告は4ページに掲載)

## 補正予算

### ○一般会計

歳入歳出それぞれ3億8953万円を増額。主な歳入は、個人所得の減による町民税3700万円、固定資産税2500万円の減額、ふるさと応援寄付金4億5000万円の増額など。  
主な歳出は、ふるさと応援寄付金事業3億700万円、障がい者自立支援給付事業1000万円、川村小学校山北中学校雨漏り修繕費等

## ふるさと納税

### 寄付金の使い道は

藤原議員 ふるさと納税は、寄付金の使い道を、納税を行った人が選択できる。  
今回、使い道についてはどうなっているか。

町長 町長におまかせが約4億3300万円、森林を活用した事業が約1800万円、あとはSL等になっている。ここ2年は好調だが、今のままでいいとは思っていない。

ふるさと納税を今後安定して維持できるよう、力をいれていく考えである。



ふるさと納税の返礼品  
とれたてやまちゃんの新鮮野菜

## ○国民健康保険事業 特別会計

歳出のみ、診療報酬の審査件数の増による予算の組みかえ。

### ○下水道事業特別会計

事業費の確定により144万円の減額。

### ○介護保険事業特別会計

介護保険システム改修事業や第3者納付金により42万6000円の増額。

### 渡辺議員 (※第3者納付金とはどういうことか。

保険健康課長 第3者の不法行為や過失割合により国保連から戻る。

※第3者納付金とは 第3者が起こした行為(交通事故等)で介護サービスを受けるようになった時、サービスの提供を受けるためにかかった費用は、加害者が負担するが、町が立て替えのちに加害者に請求するもの。

## 第3回臨時会 (11月17日開催)

### ○一般会計補正予算

人事異動にともなう人件費及び災害復旧費の補正。

### ○国民健康保険事業 特別会計

人事異動にともなう人件費の補正。歳入・歳出それぞれ105万円を減額。

### ○下水道事業特別会計

人事異動にともなう人件費の補正。

### ○介護保険事業特別会計

人事異動にともなう人件費の補正。

歳入・歳出それぞれ152万円の増額。

### ○水道事業会計

人事異動にともなう人件費の補正。

### ○専決処分の承認

一般会計補正予算  
9月台風の災害復旧及び、衆議院議員選挙のため専決した歳入・歳出それぞれ111万円の増額。

# 総務環境常任委員会審査報告

2つの条例は新規条例のため、総務環境常任委員会に付託され、審査されました。

**長期継続契約を締結することができる契約を定める条例**

機器等のリース契約や継続的にサービスを委託すること  
を複数年で契約することができ  
る条例。

**渡辺委員** 契約期間が最長7  
年以内と5年以内とあるが基  
本的な考えは。

**財務課長** 車両やOA機器な  
どの物品の金額が大きいもの  
は最長7年の賃貸借期間が一  
般的であり、サービスを受け  
るものについては、設備保守  
や清掃委託等が考えられ5年  
とした。

**瀬戸(恵)委員** 平成16年の自  
治法の改正により長期継続契  
約ができるようになったが、

今まで制定しなかった理由は。

**財務課長** これまで物品の借  
り入れは、債務負担行為を設  
定し、予算の議決を得ること

で対応していた。29年度から  
給食調理の委託が始まり、委  
託期間が9月から翌年7月ま  
での期間となるため、複数年  
度の契約ができるよう長期継  
続契約の実施に向け、この条  
例の制定となった。



長期契約で安心安全な給食を提供

**藤原委員** サービスの提供を  
受ける場合は、最長5年の契  
約だが、契約期間中に、不具  
合があった場合の対応は。  
**財務課長** 契約変更等で対応  
する。

**府川委員** パソコンのリース  
期間が完了し、再リースする  
場合の契約は。

**財務課長** 再リースは単年度

契約が一般的であり、複数年  
再リースする場合は1年ごと  
の更新となる。

**小栗委員長** 議会が当初予算  
を審査する際に、長期継続契  
約だと債務負担行為とは異な  
るため、契約状況を把握でき  
るのか。

**財務課長** 決算審査の際に内  
容を説明する。

全員賛成で了承。

## 東山北駅前広場設置条例

**東山北駅前広場のロータリ  
ーが2月20日から供用開始さ  
れるための設置条例。**

**藤原委員** 道路や通過ゾーン  
は町道となるが、待合スパー  
ス、コミュニティースペース  
の扱いは。

**都市整備課長** 都市計画法の  
広場ではなく、地方自治法に  
規定される公の施設としての  
広場となる。

**府川委員** 循環バスを通す計  
画はあるか。

**都市整備課長** 循環バスは山  
北高校側を通っており、広場  
側は通らない。構造的には通  
行できる。

**小栗委員長** これから3年か  
けて整備していくとしている  
が、その中に観光案内板やト  
イレの設置は含まれているか。  
**都市整備課長** 具体的には決  
まっていないが、トイレを含  
め今後検討していく。

全員賛成で了承。



便利になる東山北駅前広場



## 議案等審議の結果

### 第3回臨時会（11月17日）

| 件名                             | 月日     | 審議結果         | 件名                                  | 月日     | 審議結果         |
|--------------------------------|--------|--------------|-------------------------------------|--------|--------------|
| 平成29年度山北町一般会計補正予算（第5号）         | 11月17日 | 可決<br>(賛成全員) | 平成29年度山北町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）        | 11月17日 | 可決<br>(賛成全員) |
| 平成29年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） | 11月17日 | 可決<br>(賛成全員) | 平成29年度山北町水道事業会計補正予算（第1号）            | 11月17日 | 可決<br>(賛成全員) |
| 平成29年度山北町下水道事業特別会計補正予算（第2号）    | 11月17日 | 可決<br>(賛成全員) | 専決処分の承認について（平成29年度山北町一般会計補正予算（第4号）） | 11月17日 | 承認<br>(賛成全員) |

### 第4回定例会（12月5日～8日）

| 件名                                         | 月日    | 審議結果         | 件名                             | 月日    | 審議結果         |
|--------------------------------------------|-------|--------------|--------------------------------|-------|--------------|
| 山北町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について        | 12月8日 | 可決<br>(賛成全員) | 平成29年度山北町一般会計補正予算（第6号）         | 12月5日 | 可決<br>(賛成全員) |
| 東山北駅前広場設置条例の制定について                         | 12月8日 | 可決<br>(賛成全員) | 平成29年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） | 12月5日 | 可決<br>(賛成全員) |
| 山北町税条例の一部を改正する条例の制定について                    | 12月5日 | 可決<br>(賛成全員) | 平成29年度山北町下水道事業特別会計補正予算（第3号）    | 12月5日 | 可決<br>(賛成全員) |
| 山北町立中川温泉ふなの湯の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 12月5日 | 可決<br>(賛成全員) | 平成29年度山北町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）   | 12月5日 | 可決<br>(賛成全員) |
| 山北町下水道条例の一部を改正する条例の制定について                  | 12月5日 | 可決<br>(賛成全員) |                                |       |              |

# 議会報告会のお知らせ

4月に議会報告会・意見交換会を開催します



魅力あふれる  
まちづくりのため  
幅広い世代の声を  
お聞かせください

※詳しい日程・内容等詳細については後日お知らせいたします



# 委員会活動Report

中間  
報告

**町民の要望が施策に  
反映される活動を目指す**

人口減少問題に歯止めをかけることが、総務環境常任委員会のテーマになり、通年各課題を検討してきました。一つは交通機関への働きかけとして、御殿場線ICカード導入であり、二つ目は有害鳥獣駆除の問題でありました。現在は、町民の皆様の要望に具体的に応える次のステップに向かう検討が始まりました。



委員長  
小栗直治

総務  
環境  
常任  
委員会

| 課 題          | 議論の内容・考え方            |
|--------------|----------------------|
| 御殿場線のICカード化  | H32 JR東海が実施発表        |
| 鳥獣被害         | シカやイノシシの半減 助成の拡大     |
| 町内交通の再構築     | 買い物難民の支援 町内交通の統一化    |
| スマートIC周辺の利活用 | 小田原甲府線(過去の経緯) 観光のあり方 |

委員会では、2020年東京オリンピック開催にあわせて新東名高速道路の(仮称)山北スマートICの設置が決まり、スマート



道志村の議員との交流会開催  
道路網・観光等について意見交換

ンター周辺の道路網・土地活用、農業や林業を活かした町づくり、お客様を迎え入れる観光のあり方等さまざまな視点で議論した結果、

優先順位の高い順に詳細な議論を進めることとしました。

## 町民に寄り添う

## 福祉をめざして

福祉教育常任委員会では、福祉や教育の事業から複数のテーマについて現状調査を行い、3つの大きな課題に絞り、調査研究を進めてきました。

特に、在宅医療・介護連携推進事業については、昨年から県立足柄上病院内に、足柄上地区在宅医療・介護連携支援センターが設置され、1市5町が連携して実施しています。

福祉教育  
常任委員会

委員長  
鈴木登志子

| 課 題                   | 議論の内容・考え方                                                                                                |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 在宅医療・介護連携<br>推進事業の取組み | <ul style="list-style-type: none"> <li>・足柄上地区在宅医療、介護連携支援センターの現状調査と啓発</li> <li>・地域包括支援センターの関わり</li> </ul> |
| 生活支援事業の周知             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会の現状把握と課題抽出</li> </ul>                                     |
| 子育て支援の充実              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまきた認定こども園の実態調査</li> <li>・子育て相談窓口の一本化の検討</li> </ul>              |

この事業は、町の地域包括支援センターとの連携が重要となってくるため、継続して同センターの動向と、町の関わりを調査していく必要があります。



「どこで最期を迎えるか」は在宅医療推進の課題のひとつ

在宅医療・介護連携推進事業の推進は住民への周知・啓発活動が重要です。委員会としても講演会や研修会などに参加し、積極的に在宅医療・介護連携推進事業について調査研究をさらに進めていきます。

また、子ども、子育て支援の充実、委員会としても重要な課題のひとつです。

町の子どもたちを、これからどう育てていくべきなのか。県外視察や、他市町村の動向なども調査研究しながら、山北町に見合った子育て事業の検討を今後も続けていきます。



魅力あふれるまちづくりのために、子育て支援の充実を





# 委員会活動Report

中間  
報告

議会基本条例の3つの活動理念  
(一)議会の見える化(二)議員の資  
質向上(三)議会活動・委員会活動  
の活性化に基づき、今後2年間の  
活動の中で、主に以下の項目につ  
いて議論をしていきます。

平成29年5月24日の全員協議会  
で、議長の諮問により、議長を除  
く全13人の議員による「議会のあ  
り方検討委員会」が新たに設置さ  
れました。

信頼される  
議会を目指して



委員長  
瀬戸 顯弘

議会の  
あり方

検討  
委員会

| 項 目                      | 議論の内容・考え方                                                                                                                                                                                          | 結 果               |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 議会ネット中継<br>タブレット端末活用     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや広報・広聴活動の充実が先では</li> <li>・導入費用、事務負担等の費用対効果は</li> <li>・ネット中継が町民の利益に資するか</li> <li>・今導入を急がなくてはいけないことか</li> </ul>                                        | 調査凍結<br>導入見送り     |
| 条例制定・改正                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席に係る議員報酬の減額</li> <li>・時代に見合った議会会議規則の見直し</li> </ul>                                                                                                      | 3月定例議会<br>上程に向け準備 |
| 議員定数<br>議員報酬<br>議員のなり手対策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも議員定数は変えるべきなのか</li> <li>・民意の吸収、監視、政策立案をどう考えるか</li> <li>・議会活動の活発化、委員会活動の適正人員は</li> <li>・町の広大な面積や地域性と議員活動の関わり</li> <li>・若手議員のなり手を増やすには(報酬バランス)</li> </ul> | 6月を目途に<br>議論を進める  |

将来の山北町議会の望ましいあり方につ  
いて、今後も調査研究を進めます。  
また、議会報告会では、町民の皆さま  
からのご意見をお待ちしております。



外部講師を招いて、議会改革を学ぶ  
適正な議員定数・議員報酬・なり手対策とは何か  
今後の委員会活動の真価が問われる



# 研修 報告



委員長  
石田 照子

## 広報 広聴 広報 分科会



「伝わる広報」を念頭に研修する委員  
今回の成果を次の編集に活かす

今後も積極的に情報を取り入れ、  
よりよい紙面づくりに取り組んで  
いきます。

9  
28

### 町村議会広報研修会

#### シェーンバツハ・サボー

#### 「伝える広報」から「伝わる広報」へ

「山北町議会だより」の編集に関  
わる議員は、都内での研修会に毎  
年参加し、「読みやすい議会だより」  
を目指し学んでいます。

今回の研修では、伝える広報か  
ら伝わる広報へという事で、住民  
に伝わる文章の書き方のルール、  
公用文と広報文の違い等を学びま  
した。

また、全国の町村議会の事例を  
題材にした講習は、毎回参考にな  
る事例が多く、今年はホームページ・  
ジ・スマホといったデジタルメデ  
ィアを、議会だよりとどう結びつ  
け活用するかについての事例が多  
数あり、早速、町議会だよりにも  
ホームページへの誘導として、Q  
Rコードを各所に入れました。

11  
6

### 足柄上郡町村議会議長会広報研修会

#### 大井町役場 会議室

#### 「議会だより編集をまなぶ」

11月の研修会は、広報編集に携  
わる議員の研修会です。

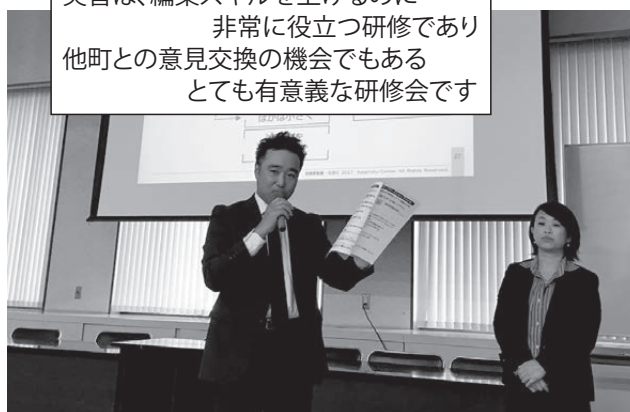
今年は、レイアウトの基礎を、  
全体講習とグループワークで学び  
ました。これは、町議会の課題の  
一つであり大いに参考になりました。

また、「写真を活かす」の講習で  
学んだ、トリミングの実習とキャ  
プションについては、直ぐにも活  
かせる内容で、編集に役立ててい  
きます。

レイアウトの基礎や写真のトリ  
ミングについては、本議会だより  
編集に、早速活かせています。



実習は、編集スキルを上げるのに  
非常に役立つ研修であり  
他町との意見交換の機会でもある  
とても有意義な研修会です





# 県外視察 Report



10  
17

10  
18

## 「長野県行政や 民間の取り組みを視察」

町の人口減対策として、委員会では、宅地・耕作地を野生鳥獣から守るため、鳥獣被害対策に取り組む調査研究を行っています。

今回は、先進的な取り組みを行っている長野県の県庁、小諸市、富士見町に伺い、行政や民間を視察研修しました。

## 総務 環境

常任  
委員会

鳥獣被害対策について  
長野県を視察しました



県内の鳥獣被害対策をリードする  
長野県庁の取り組みを視察

### 長野県庁

#### 「鳥獣被害に負けない集落」

長野県は10年前から鳥獣被害対策を実施、県内を10区画に分けて、専門家を派遣しています。

また、長野県は豊かな自然環境と農林業を中心に据え、「野生鳥獣の被害に負けない集落」を目指し、人と鳥獣の住み分けを進めていました。

### 小諸市

#### 「地域おこし協力隊を 鳥獣被害対策に活用」

小諸市では、専門家の登用に地域おこし協力隊の制度を活用し、鳥獣被害対策実施隊を設置して市民から被害報告があると、市職員が対応してくれるシステムをつくり取り組んでいます。

捕獲した鳥獣は、ジビエやペットフードとして活用し、事業の維持経費に役立っています。



小諸市内の加工施設では、捕獲数の多い  
ニホンジカを解体し、商品化している

### 富士見町

#### 県認可施設で 「ジビエカー」視察」

視察した富士見ファームは、ジビエカーを運用した信州産シカ肉認証処理施設です。ここでは指定した方法で処理された、質の高い肉のみを商品化し、その他の肉は、ペットフード用として活用しています。他には、シカ等の毛皮の商品化研究も行っていました。

#### 視察で得た成果は

- 1 サルに出会ったら、一歩前に出て人の方が強いことを教える。
- 2 野生鳥獣の、餌になるものを、地域に置かない取り組みの実施。
- 3 ジビエは、料理方法の研究や地場産品開発の取り組み。
- 4 農地・山林所有者・狩猟者・行政が一体となった対策への取り組み。

この視察の成果は、今後の委員会活動に活かしていきます。



10/25

## 「魅力あふれる 子育て支援に女性の声」

### 飯綱町

#### 《子育て支援事業》

子育て支援が手厚く、平成28年度から、子育てに関する相談・手続きはすべて教育委員会に設置した「こども子育て未来室」が担当しています。

相談窓口の一本化は利用者の煩雑解消など、行政改革の大きな事業であると感じました。

#### 《在宅医療介護連携事業》

また、「子育て応援会議」は主に小学生以下のこどもを持つ女性が過半数を占め、女性の意見が十分に反映され、アイデアあふれる事業が展開されていました。

町単独事業であっても医師会などとの連携への難しさをかかえていました。町民アンケート調査を実施し、在宅での看取りについて、

## 福祉教育 常任委員会

先進事例を学びに  
長野県へ行ってきました



子育て相談窓口は教育委員会に一本化  
ワンストップサービスでより便利に

10/26

## 「子どもを守り 育てる地域の力」

### 高山村

#### 《ユネスコスクール》

高山小学校は2015年にユネスコスクールに認定され、学力だけでなくESB(持続可能な発展のための教育)、すなわち「ふるさとの自然・文化・歴史・風土とともに人々との生活や生き方に触れ、ふるさとを守り育てていく教育」に積極的に取り組んでいます。『学校を地域に開き、地域に学ぶ』を実践し地域住民の多様な協力を得ています。

#### 《在宅医療介護連携事業》

3市町村(須坂市・小布施町・高山村)で須高医療福祉ネットワーク推進室が平成22年度から設置され、各自自治体の連携と機能の充実が図られています。特に在宅医療は、情報共有システム「在宅医療安心ネット(エイル)」を活用し、利用者(患者)の状態の変化に応じて医療・介護の関係機関(40ヶ所)で情報が共有できるシステムが構築されていました。広域連携事業として進める山北町として、とても参考になる事業であると感じました。



先生は地域のお母さん  
綿花を手に、わたの出来るまでを学んでいる



| ページ | 質 問 事 項                                                | 質 問 議 員 |
|-----|--------------------------------------------------------|---------|
| 13  | 1. 魅力的なネーミングで集客を<br>2. 「山北子供数えうた」を今一度                  | 石 田 照 子 |
| 14  | ヤマビル、マダニの対処法について問う                                     | 井 上 正 文 |
| 15  | 1. 新たな学びの求めに対し、町はどう取り組むのか<br>2. 日本農業遺産認定挑戦で、活力ある農林業振興を | 藤 原 浩   |



# 問 魅力的なネーミングで集客を

## 答 町観光協会と調整・検討していく



石田照子 議員

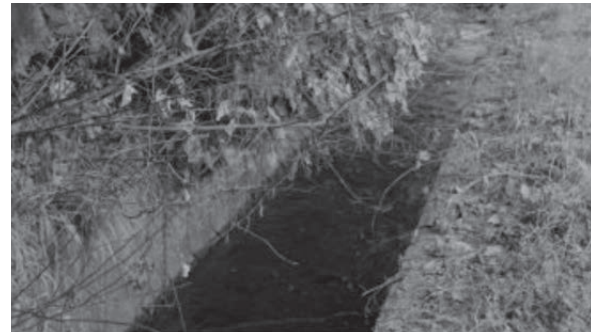
2016年SNS映えるスポットランキング1位は、「ユースン溪谷」だった。

まさに、今年の新語・流行語大賞受賞の「インスタ映え」するスポットとしてユースンブル―が注目を集めたわけだが、町の見どころはまだまだまだたくさんある。

ユースンブル―に次ぐネーミングのヒットを生み出すことで、観光振興につながれると思う、質問する。

**問** 商品価値はネーミングによって左右される。町の見どころを洗い出し、個性的で魅力的なネーミングで集客を図ったらどうか。

**答** 観光スポットのネーミングと人気は深く関係する。意外性と想像をかきたてるネーミングで、魅力を増加させ、多くの方に訪れていただけるよう検討する。



「ほたるの家周辺」にはホタルの生育環境に最適な木陰と流れる水がある

**問** 「ホタルの家」周辺では、ホタルが減少している。利用者の期待を裏切らないよう環境整備をすべきではないか。

**答** 「ホタルの家」というネーミングが施設の魅力アップにつながっている。ホタルの復活を望む町民の声もある。以前のようにはホタルが飛び交う環境づくりに地域と協力して取り組み、魅力アップを図っていく。

**問** 職場の名所や歴史を掘り起こすことで、町を熟知し仕事への愛着につながる。職員から個性的で意外なネーミングを募集したらどうか。

**答** 職員に限定せず、町内外の方にも公募していきたい。

「山北子供数えうた」の復活で町おこしを

「山北子供数えうた」は、昭和50年代に川村小学校コーラス部が東京の録音スタジオで吹き込んだもので、素晴らしい歌声と、町の名所が登場し、振り付けもついている。

復活させて、生まれ育った故郷を愛する山北っこの育成と、観光PRにつながれると思う、質問する。



歌詞の随所に観光名所が登場  
♪三つ三保のダムにはきれいな水が  
四つ夜露にホタル飛ぶ〜

**問** 子どもの頃に繰り返し歌うことで、大人になっても歌詞が、脳裏の片隅に残る。授業に取り入れたらどうか。

**答** 指導内容の増加につながる事や、取りやめた経緯を考えると、難しい。

**問** 各種イベントでBGMとして流し、多くの方に聴いていただいたらどうか。

**答** 貴重な町の財産であるため、イベント時に流し、後世に伝えていきたい。

# 問 ヤマビル、マダニの対処法を問う

一般質問



井上正文 議員

## 答 運び屋のシカやイノシシ等の個体数を減らす努力をする

私の9月の一般質問で、鳥獣被害対策についての町の回答は、「国の半減目標を見据え、とり続けていく」という回答であった。今回は、鳥獣被害対策の本質的な問題に触れたいと思う反面「ヤマビルやマダニを議会で議論することが、観光立町へのマイナスのイメージを助長するのではないか」という自分自身にプレッシャーがかかり、苦悩の選択を余儀なくされた。

しかし、予想を超える現実はい目の前で地域の方が、ヤマビルに吸血され、茶畑で私もマダニにいくつか刺されている。

今、町の中心部に迫っている状況でもある。それを観光客に隠し通せるものではなく、むしろ、オール山北で「できる手を打つ」選択をすべきだと思ひ質問する。

**問** 近年ヤマビルは、シカやイノシシによって運ばれるということが解ってきたが、山北町はヤマビルの発生状況をどのように認識しているか。

**答** 里山付近に南下している。共和地区の東名工事箇所等でも被害が発生している。

**問** ヤマビル発生個所が確認されたら、住民やハイカーにはどのような対応をとるのか。

**答** ヤマビル研究会に調査を依頼し、地域を追加している。ハイカーには、ホームページ等で知らせる。

**問** サルやクマなど捕獲する種類を増やすべきだといふが、

**答** サルは、現在は捕獲が抑制されている。クマは絶滅危惧種で捕獲できない。サルもクマも調査方法に問題があり県に生息数調査を強く要望する。

**問** ヤマビルの出現地域には、駆除剤の配布方法を検討すべきでは。

更に、マダニの対処法も検討すべきでは。

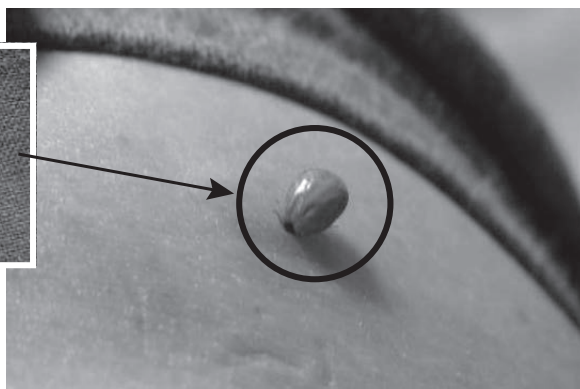
**答** 県に広域的なヤマビルの生息調査の実施及び被害防除計画を強く要望していく。今年度マダニは、共和地区が主となり神奈川県が支援する形で大野山の「火入れ」を実施すると聞いている。



足のすねを吸血



足から落ちたヤマビル



動物から人へ感染



# 問 新たな学びの求めに対し、町はどう取り組むのか

## 答 学びの基礎を意識し、継続して取り組んでいく



藤原 浩 議員

子どもの教育は、知識の量を問う知識伝達型の学習から、得た知識をどのように活用するか、時代に求められる資質能力を身に付け、能動的な学びを目指している。これに鑑み、以下の質問をする。

**問** 平成30年度から幼稚園教育要領が改訂され、アクティブ・ラーニングの学びが求められる。町は、どう取り組む考えか。

**答** 今年度より実施の「山北町就学前カリキュラム」による、「主体性を活かした対話的な保



アクティブ・ラーニングは、興味の事項を、自分のやり方で学び、疑問を自分で解決できるようになることを目標としている

育・教育」に取り組んでいる。今後も幼児教育の重要性を意識し、継続していく。

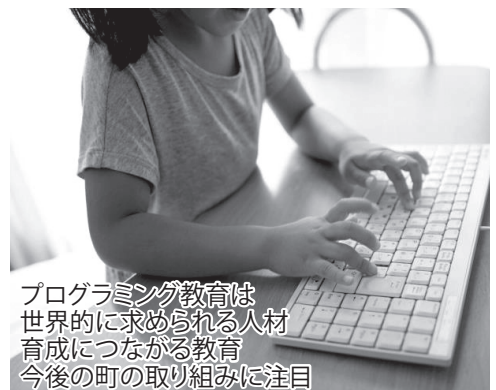
**問** 2020年からの小学校プログラミング教育必修化に、町は、どう取り組んでいく考えか。

**答** 各小中学校にプログラミング学習が出来る環境を整え、中学校には、プログラミング学習用のパソコンソフトを導入した。課題の一つの指導については、

町や県の研修で高めていくと共に地域に対して人材の協力・支援を頂くことも検討していく。

**問** プログラミング教育の中で、意欲ある生徒に対し、授業でそれを更に伸ばすのは難しい。社会教育や生涯学習の範囲で行えないか。

**答** より学習したいという児童・生徒については、生涯学習センターで実施しているサマー



プログラミング教育は世界的に求められる人材育成につながる教育。今後の町の取り組みに注目

スクールや教室・講座等に対応していきたい。

**問** 新たな取組みの導入で、パソコン環境は、各小中学校で整ってきた。通信環境を整備し、インターネットによる学校間交流を進める考えは。

**答** 交流授業は、小学校では同じ場所と同じ体験、同じ思いを共有することで、仲間意識が生まれてくる。

現在の直接的な交流を進展させ、将来的にはネット交流まで拡大していきたい。

## 日本農業遺産認定 挑戦の考えは

**問** 日本農業遺産の認定挑戦により、地域の宝への新たな気づき、町の素晴らしさを国内外に知らしめることは、観光振興や定住促進に大きく寄与する。町の考えは。

**答** 日本農業遺産認定について、クリアしなければならぬ様々な課題がある。県や近隣市町との連携も視野に入れ、可能かどうかも含めて検討していきたい。



町民にとってありふれた風景も、都市部の人間や、外国人にとっては、町の誇れる素晴らしい風景

# 活きいきひろば

## 地域に咲かせる「みつまた」の花

みつまたによる地域づくり実行委員会

会長 高橋 春男さん



「みつまたを地域の花に」そんな思いから、平成22年に本実行委員会が発足し、今年で8年目を迎えます。

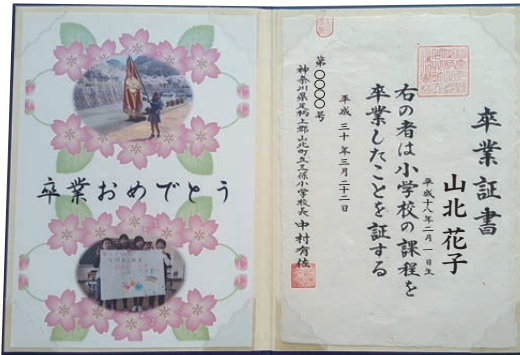
三保地域では、昭和20年代まで和紙の原料となる「みつまた」を栽培し、日本紙幣にも使われていました。今ではその姿こそなくなりましたが、春先になると黄色の美しい花を咲かせ、訪れる観光客を魅了します。

委員会では、沿道等への植栽整備を中心に、毎年三保小学校の卒業生に向け、紙すき作業を通じて、自らの手で卒業証書作

りを体験してもらっています。

す。また3月にはダム広場で植樹祭を開催し、卒業記念と、後輩たちへの贈り物として、新しい苗木を植栽しています。これまでの卒業生や地域の方々が手掛けたダム広場の群生は地域の自慢です。

そんな「みつまた」で、これから地域振興・観光振興に貢献できるよう、活動していきたいと思っています。



三保っ子自慢の卒業証書



先生は地域のおじさん・おばさん  
みんなで作った手づくり和紙

## 議会の傍聴においでください

第1回定例会(予定)

3月2日(金)～

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ

議会事務局

75-3653

議会ホームページ

山北町ホームページ

→ 行政情報

→ 町議会



## 編集後記



春まだ浅く、寒さがたき、今日このごろです。今年の干支は「戊戌（つちのえいぬ）」変化の年ともいわれています。

議会も改選から3年が過ぎようとしています。その間、議会の活動を住民の皆様を知ってもらおうと、2つの常任委員会活動を始め、様々な取り組みをしてまいりました。

議会の見える化への取り組みの一環として、我々広報分科会の果たすべき役割は非常に大きく、ホームページ等の活用も含め、更に変化していく必要があるのではと、考えております。

広報分科会では、住民の皆様にとてもらう、より読みやすく、わかりやすい広報となるよう、「山北町議会だより」の刷新に向けて取り組んでいきます。

今後ともよろしくお願いいたします。

(藤原 浩)



みつまたの花

広報分科会

会長 藤原 浩

副会長 熊澤 友子

委員 井上 正文

児玉 洋一

瀬戸 恵津子

庄野 京子